

日本の力を、世界のために。

Supporting Your Global Challenges



# JBIC第4期中期経営計画（2021～2023年度） 「変革の時代の羅針盤（"JBIC Compass 2.0"）」

2021年6月29日

## 1 第4期中期経営計画（2021～2023年度）概要

1. 第4期中期経営計画における業務の方向性

---

2. 重点取組課題

---

3. 具体的取組目標

---

4. 地球規模の課題への対処

---

5. サプライチェーン強靱化とデジタル変革への対応

---

6. 質の高いインフラと多国間連携の推進

---

7. コロナ禍への対処・政策金融機能の発揮

---

## 2 (参考) 最近の特徴的な取り組み

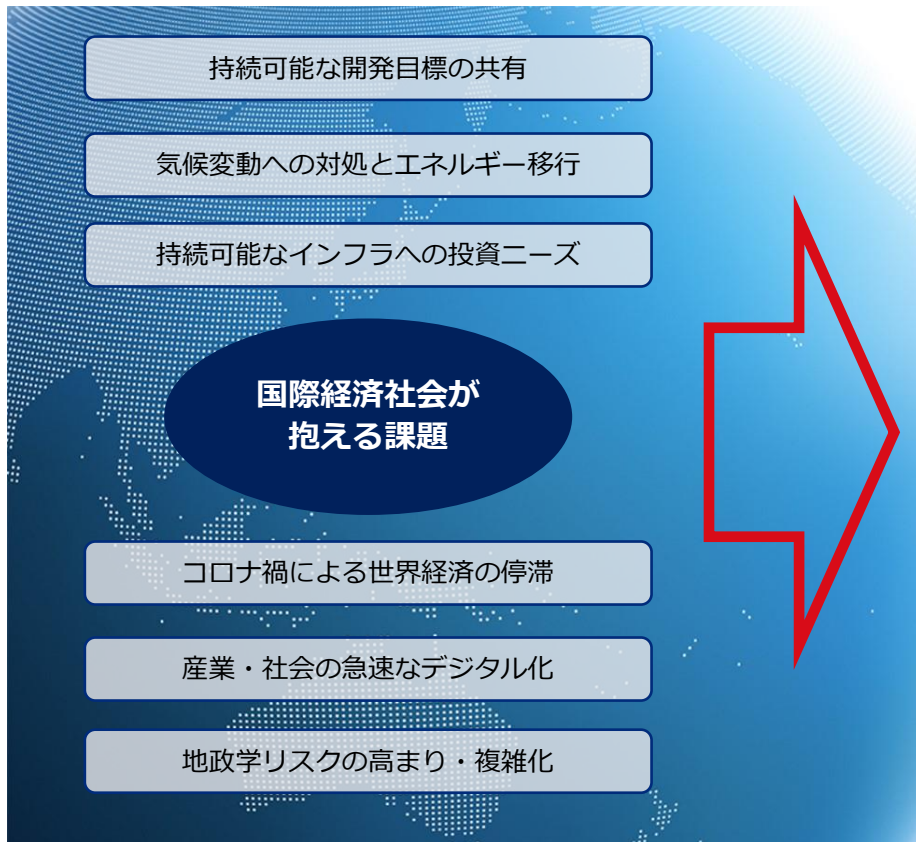
1. フィジーEnergy Fiji Limitedに対する出資

---

2. アラブ首長国連邦（UAE）における廃棄物処理・発電事業向け融資

# 1. 第4期中期経営計画における業務の方向性

コロナ禍の蔓延により経済活動が未曾有の制約を受けた2020年度を経て、今後、世界経済が力強い回復を見せることが期待される中、国際社会は、①経済・社会・環境のバランスの取れた持続可能な開発・成長の模索、②脱炭素社会の実現に向けたエネルギー移行の加速、③デジタル化の進展による産業・社会構造の変化への対応といった共通の課題を抱えています。こうした課題を踏まえ、JBICが政策金融の視点から注力すべきと考える分野は以下のとおりです。第4期中期経営計画では、こうした注力分野を取組目標に取り込み、その達成に向けた取組を進めて参ります。



## JBICにおける注力分野

- SDGs・脱炭素社会の実現を見据え、我が国企業による**脱炭素型イノベーション**の普及に向けたエコシステムの形成、ホスト国の実効性ある**エネルギー移行**や**社会的課題の解決**など、地球規模の課題に対処
- **グローバル・サプライチェーン**の見直し・最適化、**デジタル変革**を見据えた新たなグローバル・アライアンスの構築を行う我が国企業の海外ビジネスを積極的に支援
- **ホスト国**のニーズを踏まえ、また、**国際的な連携**も意識しつつ、開放性・透明性・経済性・債務持続可能性に配慮した**質の高いインフラ投資**を推進するための戦略的取組を推進
- 長期化する**コロナ禍**に起因する被害への対処、及びポスト・コロナを見据えた**新たな海外事業機会**の創出、**リスクテイク機能**の発揮、**民間資金動員**の促進を含む政策金融機能の発揮

## 2. 重点取組課題

JBICは、「国際ビジネスの最前線で、日本そして世界の未来を展きます。」という企業理念の下、今後10年先を見据えたあるべき姿として、「海図なき世界情勢の中で、日本の力で未来を築く『羅針盤』でありたい。」という中長期ビジョンを掲げることと致しました。第4期中期経営計画では、こうしたビジョンの下、**SDGs・脱炭素社会の実現**に向けたイノベーションや、不可逆的に進展する**エネルギー変革** (Energy Transformation) ・**デジタル変革** (Digital Transformation) を見据え、「変革の時代の羅針盤」をテーマに、6つの重点取組課題を設定し、その下に17の取組目標を置いて、それぞれの目標の達成に取り組んで参ります。

### JBIC中長期ビジョン 海図なき世界情勢の中で、日本の力で未来を築く「羅針盤」でありたい。

#### 第4期中期経営計画 変革の時代の羅針盤 (JBIC Compass 2.0)







##### 重点取組課題 (業務分野)

- (1) 国際経済社会の持続可能な発展に向けた**地球規模の課題**への対処
- (2) 産業・社会構造の変革下における**我が国産業の国際競争力強化支援**
- (3) 質の高い**インフラ海外展開**に向けた戦略的取組の推進
- (4) 経済情勢の変化に即応した**政策金融機能の発揮**

##### 重点取組課題 (組織分野)

- (5) 外部環境の変化に対応する**業務体制の整備**
- (6) 新常态に対応する**効率的な組織運営**

# 3. 具体的取組目標

	重点取組課題	取組目標
	(1) 国際経済社会の持続可能な発展に向けた <b>地球規模の課題</b> への対処	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <b>脱炭素社会の実現に向けたエネルギー変革</b>への対応</li> <li>② <b>社会的課題の解決</b>に資する事業に対する支援</li> </ul>
	(2) 産業・社会構造の変革下における <b>我が国産業の国際競争力強化支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 国際的な<b>サプライチェーンの強靱化・再構築</b>への対処</li> <li>② <b>デジタル変革</b>等に向けた我が国企業のM&amp;A・技術獲得への支援</li> </ul>
	(3) 質の高い <b>インフラ海外展開</b> に向けた戦略的取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 我が国企業の強みを生かした<b>海外インフラ事業</b>への参画に対する支援</li> <li>② <b>多国間連携・国際金融機関等との連携</b>の推進</li> </ul>
	(4) 経済情勢の変化に即応した <b>政策金融機能の発揮</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <b>コロナ禍</b>の影響を受けた海外事業に対する機動的対応</li> <li>② <b>政策的重要性の高い国・地域</b>に対する戦略的取組</li> <li>③ <b>中堅・中小企業</b>支援を含む政策金融機関としての業務の着実な実施</li> <li>④ 政策金融としての<b>リスクテイク機能</b>の強化</li> <li>⑤ <b>民間資金動員</b>の更なる推進</li> </ul>
	(5) 外部環境の変化に対応する <b>業務体制の整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ビジネス環境・顧客ニーズの変化に即した<b>業務体制</b>の整備</li> <li>② <b>金利指標改革</b>への適切な対応</li> <li>③ ウィズコロナ/ポストコロナ下における適切かつ効率的な<b>審査・与信管理</b></li> </ul>
	(6) 新常態に対応する <b>効率的な組織運営</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 新常態に対応する<b>デジタル環境の整備</b></li> <li>② 多様な職員的能力と活力を引き出す<b>人材育成と働き方改革</b>の推進</li> <li>③ <b>コンプライアンス態勢</b>の実効性強化</li> </ul>

（業務分野）

（組織分野）

## 重点取組課題: (1) 国際経済社会の持続可能な発展に向けた地球規模の課題への対処

### 取組目標: ① 脱炭素社会の実現に向けたエネルギー変革への対応

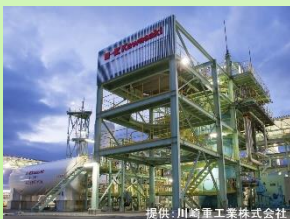
- **世界の温室効果ガス削減及び我が国の脱炭素化に向けた新たなエコシステムの形成に貢献**するため、再生可能エネルギー・省エネルギー、スマートエナジー（蓄電技術等）、グリーン・モビリティ、スマートシティ、水素の製造・輸送利活用推進等に関する事業へのファイナンスを通じ、温室効果ガス削減やグリーンイノベーションの普及を支援（**グリーンファイナンス**）
- **ホスト国による持続可能なエネルギー移行へのエンゲージメントを図りつつ、環境負荷低減に資する事業の拡大に貢献**するため、エネルギー転換、CCUS/カーボンリサイクル、アンモニア・水素混焼等に関する事業へのファイナンスを通じ、世界のエネルギー移行に向けた取組を支援（**トランジションファイナンス**）

### 取組目標: ② 社会的課題の解決に資する事業に対する支援

- 健康・福祉・衛生の向上、雇用創出、持続可能な都市・居住空間の形成など、**持続可能な成長に向けたホスト国の社会的課題解決への取組に貢献**するため、医療環境の整備・拡充（感染症対策、病院・医療機器）、基礎的インフラへのアクセス（上下水道、地方電化・分散型電源、情報通信）、生活環境の整備（都市開発・防災、公共交通）、衛生環境の向上（廃棄物処理・再生利用、海洋プラスチックごみ対策）、食の安全・持続可能な食糧システム（フードバリューチェーン）など、ホスト国の社会的課題の解決に資する事業支援（**ソーシャルインパクトファイナンス**）

### 水素バリューチェーン構築を目指した支援

水素を「作る」



水素を「運ぶ」



水素を「使う」



# 5. サプライチェーン強靱化とデジタル変革への対応

## 重点取組課題: (2) 産業・社会構造の変革下における我が国産業の国際競争力強化支援

### 取組目標: ① 国際的なサプライチェーンの強靱化・再構築への対応

- 我が国企業によるグローバルなサプライチェーンの再編、及び新規市場開拓のための現地サプライチェーン構築に向けた取組に貢献するため、我が国企業による海外向け新規設備投資（事業拠点の移設、新設及び増設に係る投資）や現地裾野産業、海外の産業集積地におけるインフラ整備など、我が国企業によるグローバルなサプライチェーン強靱化・再構築を支援

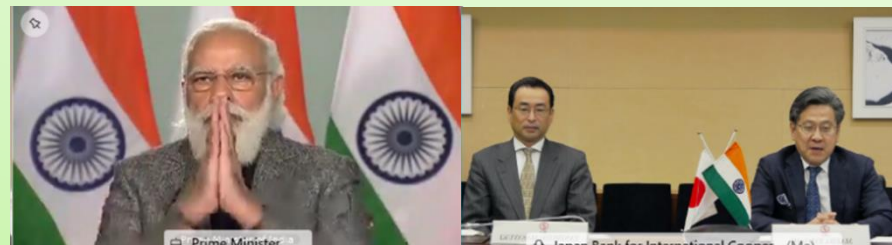
### 取組目標: ② デジタル変革等に向けた我が国企業のM&A・技術獲得への支援

- 急速なデジタル変革の進展に対応するためにビジネスモデルの再構築や先端技術の開発・獲得を行う我が国企業の取組を後押しするため、デジタル技術をはじめとする海外の先進的な技術・ノウハウの獲得などに対するファイナンスを通じ、デジタル変革期における我が国企業の国際競争力強化を支援

## インドステイト銀行を通じた自動車サプライチェーン支援事業に対する融資（2020年10月）

### ■ 概要

- > **日系自動車メーカーの裾野産業支援**の観点から、現地部品メーカー及びディーラーが行う製造・販売事業並びに日系自動車の販売金融に必要な資金をインドステイト銀行（SBI）を通じて融資するもの。
- > 協調融資総額：10億米ドル（うち、JBIC融資額：6億米ドル、民間金融機関分4億米ドルにJBIC保証付与）
- > 2020年11月、JBICはモディ首相と直接対話を実施。本融資についてもインドの産業政策に合致するものとして言及。



# 6. 質の高いインフラと多国間連携の推進

## 重点取組課題: (3) 質の高いインフラ海外展開に向けた戦略的取組の推進

### 取組目標: ① 我が国企業の強みを生かした海外インフラ事業への参画に対する支援

- ホスト国における債務持続可能性、プロジェクトのライフサイクルコストに照らした経済性などを確保し、環境・社会面での影響などに配慮した**質の高い海外インフラの普及に貢献**するため、我が国企業によるコアとなる技術の活用やO&M等への継続的関与などによる質の高い海外インフラ展開を支援

### 取組目標: ② 多国間連携・国際金融機関等との連携の推進

- 多様な資金の出し手との協調・連携を通じ、世界のインフラニーズに対応していくため、**日米豪印を含む多国間連携や国際金融機関等との協調による案件の発掘・形成**に向けた取組を推進

#### 米国国際開発金融公社 (USDFC) との新たな覚書締結 (2021年1月)

- **協力分野の拡大**
  - インフラ、エネルギー、天然資源に加え、**電力、水素、デジタル・情報通信、サプライチェーン**を追加。
- **協力地域の拡大**
  - インド太平洋、中東・アフリカに加え、**西半球や中東欧**での協力を追加
  - 両機関が協調して融資する候補案件及びリスク分析等に係る情報交換や知見の共有、民間企業に対する投資の働きかけ、**「質の高いインフラ」を推進するためのファイナンスにおけるグローバルスタンダードの構築**を推進。
  - 個別案件毎に、価値観を同じくする**第三国とも連携**することを確認。





## 重点取組課題: (4) 経済情勢の変化に即応した政策金融機能の発揮

### 取組目標: ① コロナ禍の影響を受けた海外事業に対する機動的対応

- 危機対応業務（**危機対応緊急ウインドウに基づく融資**）の着実な実施
- 国際金融環境の変化への機動的な対応（適切な与信管理を含む）

### 取組目標: ② 政策的重要性の高い国・地域に対する戦略的取組

- 政策的重要性の高い国・地域における出融資保証案件の組成に向けた戦略的取組（**多国間連携による取組**や**アフリカ向け事業支援**の拡充を含む）

### 取組目標: ③ 中堅・中小企業支援を含む政策金融機関としての業務の着実な実施

- 重要資源の確保や我が国産業の海外展開支援など**政策金融の着実な実施**
- 地域金融機関をはじめとする民間金融機関との連携強化や情報発信等を通じ、**中堅・中小企業の海外進出**を支援

### 取組目標: ④ 政策金融としてのリスクテイク機能の強化

- 特別業務の活用等による**リスクテイク機能の強化**、及び現地通貨建融資等を活用したファイナンス手法の多様化
- 政策金融機関としての対外交渉力・対外発信力の強化

### 取組目標: ⑤ 民間資金動員の更なる推進

- 本行の出融資保証業務及び貸付債権の流動化を通じ、民間事業投資及び民間金融機関による融資を含む**民間資金の動員を積極的に推進**

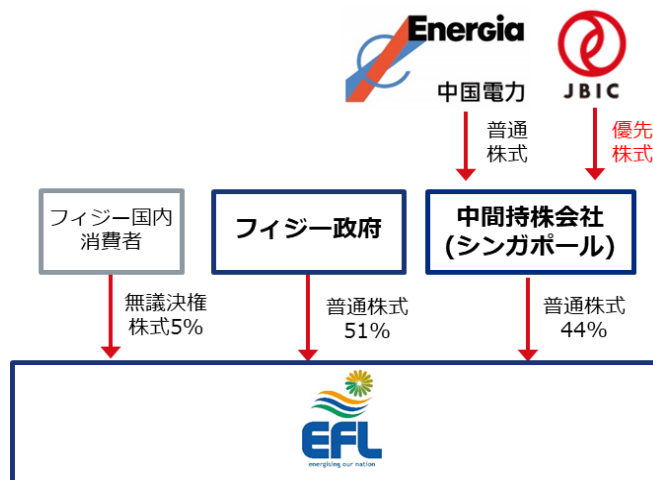
## フィジーEnergy Fiji Limitedに対する出資（2021年3月）

### ■ 特色

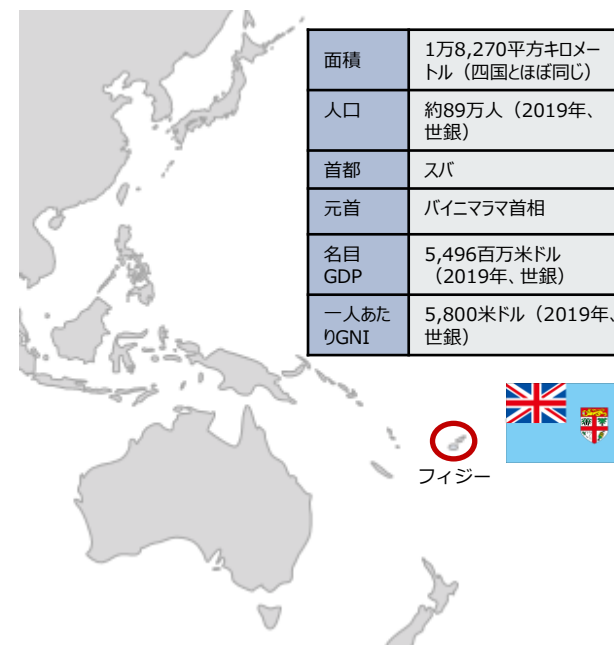
- 海外における個別の発電事業ではなく、**発電・送電・配電を一貫して実施する電力会社への経営参画という、中国電力としての新たな取組を支援。**

### ■ 概要

- 中国電力と共に、フィジー法人Energy Fiji Limited（EFL）の発行済株式の44%をフィジー政府から取得。EFLは、フィジーにおいて発電・送電・配電を一貫して担う唯一の電力会社。フィジー政府が国家開発計画において掲げる「2036年までに発電の全量を再エネ化」という目標に基づき、水力や太陽光等の再エネの拡大に取り組む。



### フィジー概況



## アラブ首長国連邦（UAE）における廃棄物処理・発電事業向け融資（2021年3月）

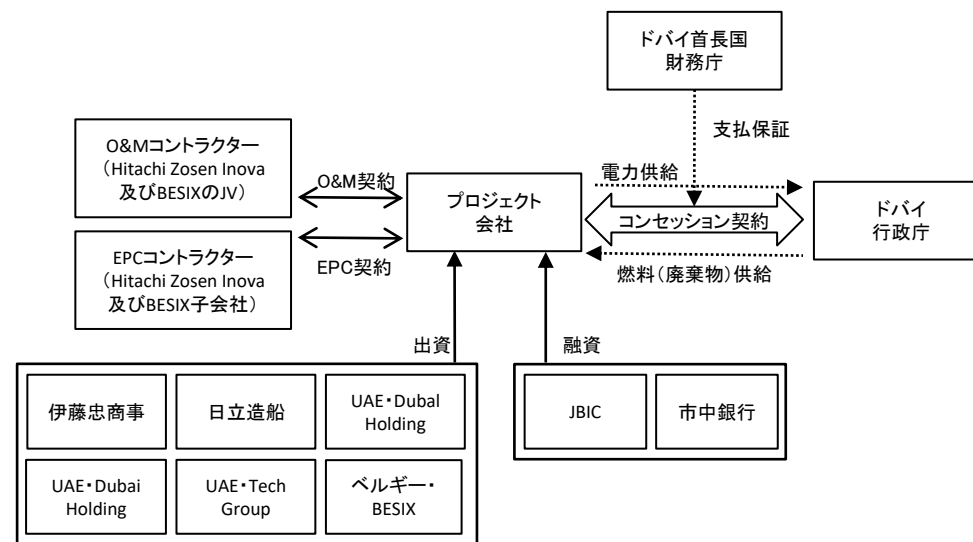
## ■ 特色

- > 廃棄物処理分野における取組への拡大を掲げる伊藤忠商事及び、衛生的なごみ処理や持続可能な社会の実現に積極的に関与する日立造船の戦略に即した事業支援。
- > ドバイ首長国で初の廃棄物処理・発電プロジェクトで、世界最大級規模。同国の埋立廃棄物削減に寄与。
- > JBICにとって初の廃棄物処理・発電セクター向けプロジェクトファイナンス案件。



## ■ 概要

- > UAEドバイ首長国において、廃棄物処理量190万トン/年、総発電容量194MWの廃棄物処理・発電プラントを建設・所有・運営するプロジェクト。完工後35年に亘り廃棄物を処理し、ドバイ行政庁（※）に対し売電。
- > 伊藤忠商事及び日立造船が現地パートナー等と取り組む投資事業。
- > 協調融資総額約927百万米ドル（うちJBIC融資金約452百万米ドル）。



※ ドバイ首長国の都市サービスと施設の開発、維持及び管理に関する法的権限を持つ政府機関